

報告事項 キ

平成30年度第2回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議  
兼鳥取県「体験の風をおこそう」実行委員会の概要について

平成30年度第2回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議兼鳥取県「体験  
の風をおこそう」実行委員会の概要について別紙のとおり報告します。

平成31年2月7日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

平成30年度第2回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議  
兼鳥取県「体験の風をおこそう」実行委員会の概要について

平成31年2月7日  
社会教育課

- 1 日時 平成31年1月25日（金）午前10時から正午まで
- 2 場所 県立倉吉体育文化会館中研修室
- 3 会議の概要

議題 平成31年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業計画案について

○独立行政法人国立青少年教育振興機構からの受託事業の地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業の平成31年度事業計画案について、委員に意見照会をして提出された意見を踏まえ修正した事業計画案と、事業費を減額のうえ採択された場合の事業費の調整案について説明し、承認された。

○主な意見

- ・委員の意見は概ね汲み取ってもらえていると思う。
- ・体験事業など参加者を増やす対策が必要。チラシの配布先を増やすだけでなく、対象となる団体が集まる場所で説明したり社会教育委員に協力してもらうなどして、必要とする人に届けることが大切。
- ・読書活動の啓発イベントは非常に良いと思うが、イベント時に素通りされないようアピールの仕方を工夫すること。

意見交換 地域学校協働活動について

○鳥取県における地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの推進方策について、説明した。

○主な意見

- ・CSの導入の課題は、必要性が感じられないことではないか。
- ・CSの目標は、子どもたちを、自分から進んで役を担い地域を守る大人に育てることだと考えている。
- ・住民としてCSに関わっているが、学校を育てると同時に地域・保護者を育てるのがCSだと考える。
- ・CSと地域学校協働活動は別との間違った認識もある。自分の地域にもCSが導入されたが、公民館に地域学校協働活動推進員が配置される方針。住民自治の視点で住民が主体的に考えるよい機会。
- ・メリットや成果の周知不足があるのではないか。本日の説明内容をもっと地域住民に周知をしてはどうか。本日の委員からの意見は住民の率直な意見なので、活かして欲しい。

報告 社会教育委員の手引について

○今年度中に作成予定の社会教育委員の手引[実践編]の素案について、報告した。

〈参考：委員名簿〉

氏名	所属・職名等	備考
うえすき みき 上杉 未樹	鳥取県連合青年団事務局次長	
おおほり たかし 大堀 貴士	NPO 法人ハーモニーカレッジ理事長	
おぐら ひろゆき 小椋 博幸	倉吉市教育委員会教育長	
かわぐち めいこ 川口 有美子	公立鳥取環境大学環境学部准教授	副会長
こんどう つよし 近藤 剛	鳥取短期大学幼児教育保育学科准教授	会長
たなか しょうこ 田中 昭子	鳥取県連合婦人会	
とびかわ みゆき 飛川 みゆき	北栄町大谷こども園園長	
なかだ あけみ 中田 朱美	倉吉市立河北小学校長	(欠)
なかほら たくや 中原 卓也	日本海テレビジョン放送株式会社 編成営業局販売企画部長兼事業部長	(欠)
ふくじゅ みどり 福壽 みどり	鳥取県PTA協議会会長	
ふくだ きょうこ 福田 京子	日本ボーイスカウト鳥取連盟理事	
むらやま ようこ 村山 洋子	わかさ生涯学習情報館館長	
やまね かずのり 山根 一記	鳥取市賀露地区公民館館長	
よねだ のぶみ 米田 述史	公益社団法人鳥取県老人クラブ連合会理事	
委員 計	14名	